I-O DATA

USB 接続
コンパクトフラッシュ＆スマートメディア対応ドライブ

USB-DFRW

取扱説明書

ダミー表紙

株式会社 アイ・オー・データ機器

58086-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATA は、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
- Apple,Macintosh,Power Macintosh,Mac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Compact Flash™ は SanDisk Corp の登録商品です。
- Ulead PhotoExplorer はユーリードシステムズ社の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

USB-DFRW 取扱説明書
2000.Jul.17 58086-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 2000 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにＶｅｒシールをお貼りください

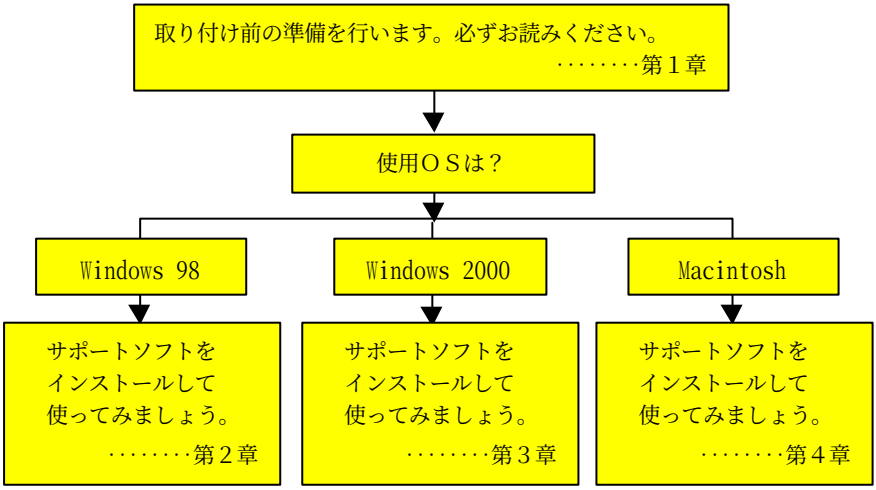
Ｖｅｒシール

はじめに

このたびは、USB接続のコンパクトフラッシュ／スマートメディア両用ドライブ「USB-DFRW」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System および Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Edition
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional

はじめに…… i
目次…… ii
本製品のご紹介……v

1 ご使用になる前に 必ずお読みください

箱を開けたら …… 2
対応している機種とＯＳ …… 4
注意していただきたいこと …… 6

2 Windows 98 で使うには

インストール編

サポートソフトのインストール …… 9
インストール終了後の確認 ……16

使用編

基本的な使い方 ……19
デジタルカメラの画像を取り込むには ……22
ディスクドライブとして使用するには ……29
フォーマットするには ……31

3 Windows 2000 で使うには

インストール編

サポートソフトのインストール……37
インストール終了後の確認……43

使用編

基本的な使い方……45
デジタルカメラの画像を取り込むには……50
ディスクドライブとして使用するには……51
フォーマットするには……53

4 Macintosh で使うには

インストール編

インストールする前に……57
サポートソフトのインストール……62
パソコンへ接続する……64

使用編

基本的な使い方……66
デジタルカメラの画像を取り込むには……69
ディスクドライブとして使用するには……70
フォーマットするには……72

5 付　録

困ったときには＜目次＞ ……76
困ったときには ……78
ハードウェア仕様 ……86
用語解説 ……87

サポートセンターへのお問い合わせ……88
サポートソフトのバージョンアップ……89
保証について……90
修理について……91

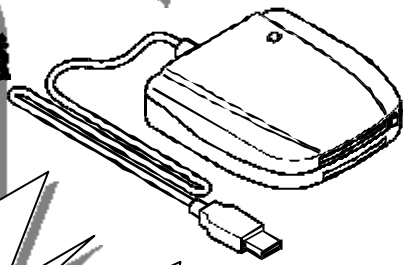
本製品のご紹介

USB接続だから簡単接続・外部電源不要

USB 対応で、パソコンを起動したまま抜き差しができる PnP、HotPlug 対応。外部電源が不要なので AC アダプタの配線やコンセントが要りません。
不要なときには USB コネクタを抜いておくこともでき、再接続時は USB コネクタを差し込むだけです。

小型・軽量おしゃれなスケルトンタイプ

小型・軽量で、ノートパソコンと一緒に持ち運ぶときにもぴったりです。
外見は、おしゃれな、クリアグレーのスケルトン仕様です。



コンパクトフラッシュとスマートメディアの2ドライブ搭載

現在、デジタルカメラの主流となっているメディア形式は２つあります。本製品では両方に対応するため、２ドライブを搭載しました。
これなら、デジタルカメラを買い換えたときに困ることもありません。

Windows 98/2000とMac OSの両対応

Windows 98/2000 と Mac OS（8.5.1 以降）に対応。どちらでも使えます。

画像管理ソフトを添付(Windows 98対応)

Ulead 社の「PhotoExplorer 5.0SE」を添付。増え続ける画像データを、多彩な機能と簡単な操作で管理できます。

1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

P2　箱を開けたら

箱の中に入っているものを確認してください。また、ユーザー登録の方法を説明してありますので、必ず、登録をお願いします。

P4　対応している機種とＯＳ

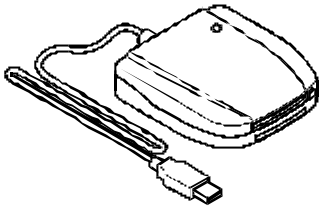
対応機種や対応OSについて説明します。お取り付けになる前に、ご使用のパソコンがこれらの条件を満たしているか、確認してください。

P6　注意していただきたいこと

取り付け時や使用時の注意点を説明しています。必ずお読みになり、安全で快適にご使用ください。

箱を開けたら

中身を確認してください

内容物	詳細	個数
USB 接続コンパクトフラッシュ＆スマートメディア対応ドライブ		1 個
サポートソフト	USB-DFRW サポートソフト CD-ROM ディスク この CD-ROM には以下のものが含まれます。 ● USB-DFRW ドライバ ● Ulead PhotoExplorer 5.0SE(Windows 98 対応)	1 枚
その他	取扱説明書（本書）	1 冊
	ハードウェア保証書	1 枚
	ユーザー登録カード（弊社用）	1 枚
	ユーザー登録カード （ユーリードシステムズ社用）	1 枚
	Ver シール	1 枚
	ハードウェアシリアル No.シール	1 枚
	安全で快適にお使いいただくために	1 冊

万が一、不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

注意！

箱･梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

ユーザー登録を行ってください

弊社のユーザーサポートはユーザー登録を行った方のみが対象となります。
お買い上げいただいた製品ごとに以下の手順で必ず登録してください。

1 添付のVerシールを貼ってください。

ユーザー登録カード、本書の巻末に貼ってください。

2 添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼ってください。

ユーザー登録カード、ハードウェア保証書に貼ってください。

3 ●オンライン登録する場合（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/）

インターネットに接続できる環境をお持ちの場合はこちらでユーザー登録を行ってください。

I-O DATA ホームページに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を入力して、ユーザー登録を行ってください。

※ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードには、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

●ハガキで登録する場合

必要事項をご記入の上、弊社まで必ずご返送ください。

注意！

1．ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ（ユーザー登録カードの場合、必要なシールの貼り忘れ等）があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

2．本製品に添付されている『Ulead PhotoExplorer 5.0SE」のユーザーサポートは、弊社ではなく、ユーリードシステムズ社が行います。このソフトをお使いになるときは、弊社へのユーザー登録とは別に、ユーリードシステムズ社へのユーザー登録が必要です。本製品同梱のユーザー登録カードに必要事項を記入し、郵送してください。
なお、ユーリードシステムズ社へのお問い合わせ窓口は、P26『PhotoExplorer 5.0SE に関するお問い合わせ」を参照してください。

対応している機種とＯＳ

本製品を使用できるパソコンおよび環境は以下の通りです。ご使用の機種や環境を再度ご確認ください。

■Windows マシン■

対応機種	● NEC PC98-NX シリーズ ● DOS/V マシン （弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。）
対応 OS （日本語版）	Windows 98（Second Edition 含む）， Windows 2000
CD-ROM	インストール時に必要。
USB ポート	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

注意！

1. **USB ハブを経由して本製品を接続する場合は、USB ハブにAC アダプタを付けて、電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSB ポートに接続する必要があります。**
2. **DynaBook シリーズでお使いの場合は、Windows のスタンバイ機能を使用しないでください。**

■Macintosh シリーズ■

対応機種	Apple iMac、iBook、PowerBook G3 Power Macintosh G3/G4
対応 OS	Mac OS 8.5.1、8.6、9、9.04
USB ポート	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

注意！

1. **USB ハブを経由して本製品を接続する場合は、USB ハブにAC アダプタを付けて、電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSB ポートに接続する必要があります。**

2. iMac のボンダイブルー（M6709J/A, M6709J/B）をお使いになる場合は、Mac OS 8.5 以降へのバージョンアップ、および 「iMac Firmware Update 1.0」、「iMac Update1.1」が必要です。詳しくはP57「インストールする前に」を参照してください。
3. Mac OS 8.5.x の場合には、「iMac Firmware Update 1.0」、「iMac Update1.1」が必要です。詳しくはP57「インストールする前に」を参照してください。
4. PowerBook G3 でお使いの場合は、Mac OS のスリープ機能を使用しないでください。

■対応メディア（Windows マシン、Macintosh シリーズ共通）■

コンパクトフラッシュ	CFA 準拠のメディア
スマートメディア	5V：2/4MB メディア 3.3V：4/8/16/32/64MB メディア ※64MB を超えるメディアについては、SSFDC フォーラムの規格に準拠したものをサポートします。
マイクロドライブ	IBM 社製のもの

注意していただきたいこと

本製品は非常に精密にできておりますので、お取り扱いに際しては、本製品に同梱されている小冊子「安全で快適にお使いいただくために」を必ずお読みください。ここでは、その小冊子の記載以外の注意点について説明します。

⚠ 注意

本製品を接続中は、以下の注意事項を守らないと使用者が**けが**をしたり**物的損害**を受けることがあります。

- **パワー&アクセスランプの点滅または消灯中は絶対にカードを抜かない。**

  カードに記録されている内容が消えたり、カードが損傷する原因となります。

- **パワー&アクセスランプの点滅または消灯中は絶対にUSBケーブルを抜かない。**

  本製品が故障したり、カードに記録されている内容が消えたり、カードが損傷する原因となります。

その他の留意事項

- 本製品はサスペンド・スタンバイ・スリープなどのモードには対応しておりません。
  本製品を接続中にそれらのモードになった場合は、復帰後に本製品のUSBコネクタをいったん抜いてから接続し直してください。
- ご利用の環境によってはUSBハブに接続できない場合があります。
  その場合はパソコン本体のUSBポートに接続する必要があります。
- 本製品をUSBハブに接続する場合、USBハブの電源は必ずACアダプタを接続し、コンセントから電源を供給してください。
- デフラグ、スピードディスクなどのディスク最適化ツールはなるべく使わないでください。メディアの書き込み可能回数が著しく低下します。
- メディア内のデータは万一に備えて定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
- スマートメディアのライトプロテクトシールは貼らずにご使用ください。

2 Windows 98 で使うには

この章では、本製品を Windows 98 で使用する場合のインストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 98 で使用するときは、必ず行ってください。

P9　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P16　インストール終了後の確認

正しくインストールできたかどうかの確認を行います。

メディアの出し入れ方法や注意事項、添付ソフトを使ってデジタルカメラで撮影した画像を取り込む方法など、USB-DFRW を活用する方法を説明します。

P19　基本的な使い方

USB-DFRW の取り外し、メディアの出し入れ、およびその際の注意事項などを説明します。必ずお読みください。

P22　デジタルカメラの画像を取り込むには

添付ソフト「Ulead PhotoExplorer 5.0SE」を使って、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込む方法を説明します。

P29　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P31　フォーマットをするには

通常、メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、このページを参照してフォーマットを行ってください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、はじめて USB-DFRW を接続したときだけ行います。次回からは、USB-DFRW の USB コネクタを差し込むだけで使用できます。

CD-ROM ドライブ名の確認

インストール時には使用する CD-ROM ドライブ名を指定する必要があります。
使用する CD-ROM のドライブ名がわからないときは、下記の手順にしたがってドライブ名を確認してください。

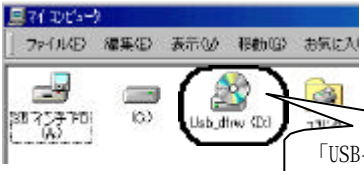
1 **パソコンの電源を入れ、Windows 98 を起動します。**

2 **『マイコンピュータ』をダブルクリックします。**

3 **「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。**

4 **しばらくすると、CD-ROM ドライブの名称が「Usb_dfrw」になります。そのドライブのドライブ名をメモします。**

下記の例では CD-ROM ドライブ名は、D となります。



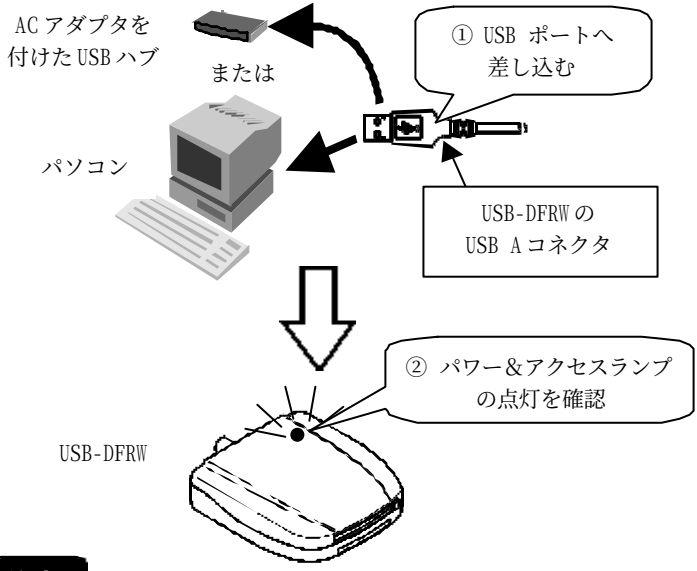
「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを挿入した CD-ROM ドライブ

インストール開始

パソコンの電源が入っていない場合は、電源を入れて Windows 98 を起動してください。

パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、USB ケーブルの USB A コネクタを差し込みます。

USB A コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
USB A コネクタを最後まできちんと差し込むと、USB-DFRW のパワー＆アクセスランプが点灯するので、確認してください。



注意！

1. **パソコン（または USB ハブ）の USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
2. **USB ハブに接続する場合、必ず USB ハブに AC アダプタを付けて電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体の USB ポートに接続してください。**

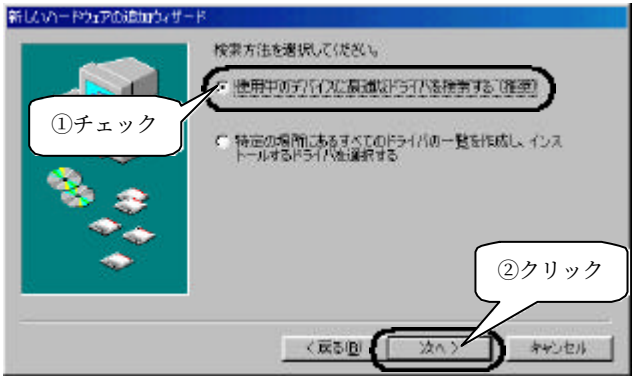
2 しばらくして下記の画面が表示されたら、「USB-DFRW」と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

この画面が表示されない場合は…

「困ったときには」P78をご参照ください。

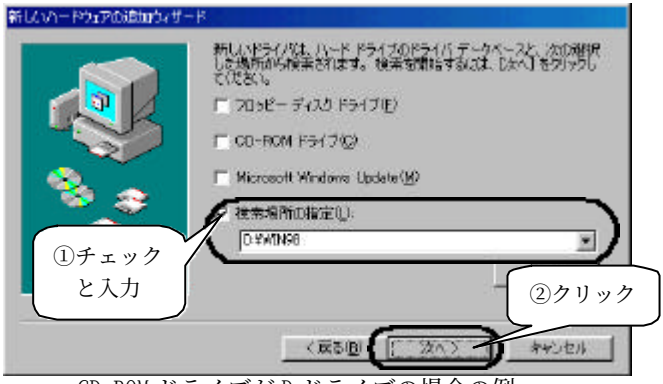
3 「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

4 「使用中のデバイスに…」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



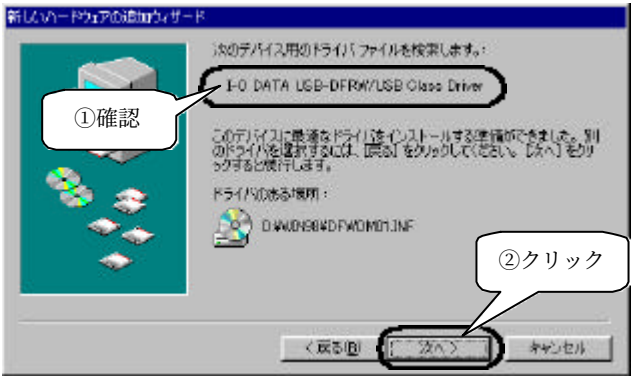
5 「検索場所の指定」をチェックして、[CD-ROMドライブ名]:\WIN98と入力し、[次へ]ボタンをクリックします。

ここで指定するCD-ROMドライブ名は、P9「CD-ROMドライブ名の確認」でメモしたドライブ名になります。



CD-ROMドライブがDドライブの場合の例

6 『I-O DATA USB-DFRW/USB Class Driver』と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

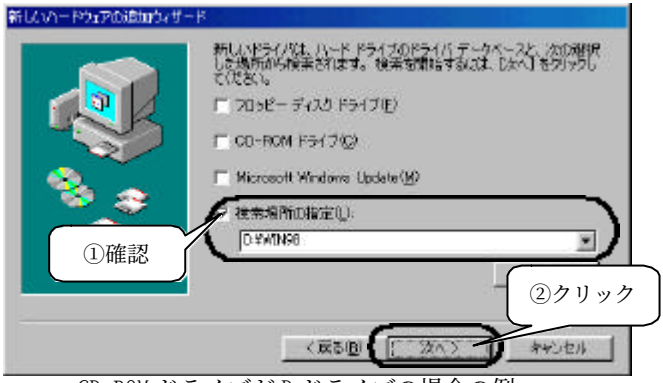


7 しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

8 しばらくすると下記の画面が表示されます。
「USB-DFRW Adapter」と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

9 「使用中のデバイスに…」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。
（表示される画面は、P11 手順4と同じ）

10 P12 手順5で指定した検索場所が表示されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。



CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例

11 『I-O DATA USB-DFRW/USB MiniPort Driver』と表示されていることを確認して、[次へ]ボタンをクリックします。

12 しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ「インストール終了後の確認」へお進みください。

《インストール編》
インストール終了後の確認

インストールが終了したら、パソコンが USB-DFRW を正しく認識したかどうかの確認を行います。

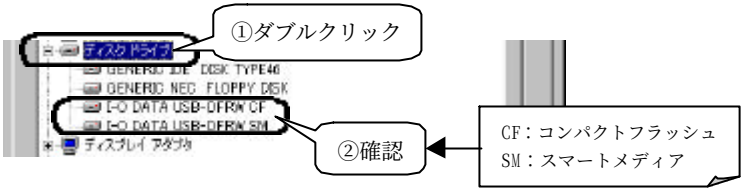
1 『マイコンピュータ』を右クリックして、「プロパティ」を選びます。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]をクリックします。

注意！

USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯している時は、[デバイスマネージャ] の[更新 ボタンをクリックしないでください。

3 「ディスクドライブ」をダブルクリックして、「I-O DATA USB-DFRW CF」「I-O DATA USB-DFRW SM」が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-DFRW CF」「I-O DATA USB-DFRW SM」が表示されていない、または、先頭に「！」や「×」マークが付いている場合は…

「困ったときには」P79をご参照ください。

4 [OK]ボタンをクリックして、「システムのプロパティ」画面を閉じます。

5 『マイコンピュータ』をダブルクリックします。

6 「リムーバブルディスク」が2つ追加されていることを確認します。

割り当てられるドライブ名はお使いの環境によって異なります。
先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではEドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではFドライブ）がスマートメディアのドライブになります。

USB-DFRWがE,Fドライブに割り当てられた場合の例

どのリムーバブルディスクがUSB-DFRWなのかが判別できない場合は…

「困ったときには」P79をご参照ください。

これで、USB-DFRW がパソコンに正しく認識され、リムーバブルディスクとして使用できることが確認できました。
１度これらのインストールを行えば、今後は USB-DFRW の USB コネクタを差し込むだけで使えるようになります。USB-DFRW を使わないときは、メディア取り出しを確認後、USB-DFRW を取り外しておけば、USB コネクタを有効に使用できます。

USB-DFRW は、コンパクトフラッシュやスマートメディアを挿入し、リムーバブルディスクとして使用できます。例えば、デジタルカメラで撮影したメディアを挿入すれば、デジタルカメラを接続する必要もなく、高速に画像をパソコンに取り込むことができます。
P19 からの「使用編」をよくお読みの上、ご使用ください。

《使用編》
基本的な使い方

USB-DFRW を使うとき

USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込んでください。
（差し込み方は P 10 参照）

↓

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの場合：次ページ
・スマートメディアの場合：P21

↓

USB-DFRW を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、USB コネクタを抜いてください。USB コネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。

注意！

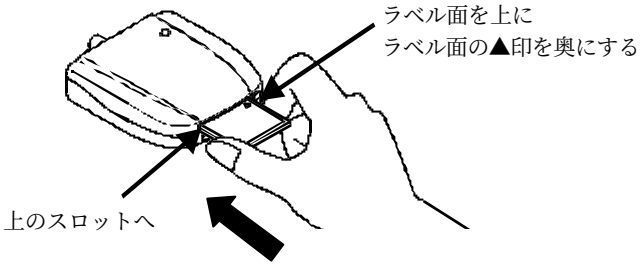
1. DynaBook シリーズでお使いの場合は、Windows のスタンバイ機能を使用しないでください。
2. USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの出し入れ

※メディアの出し入れは、USB-DFRW 本体を手で押さえて行ってください。

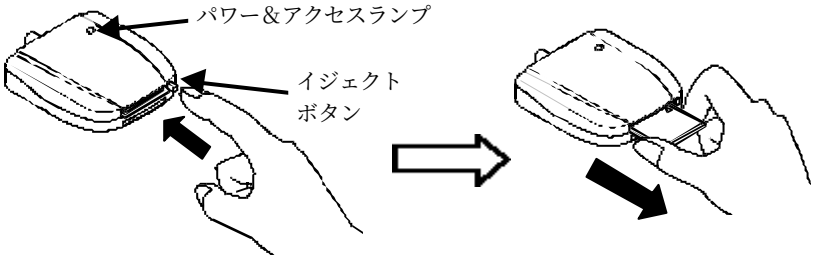
■メディアを入れる■

上のスロットに入れます。メディアのラベル面を上にし、▲印の方を奥にし、挿入口に対して水平にして、手で最後まで押し込んでください。



■メディアを出す■

1. USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯していないことを確認します。
2. イジェクトボタンを押すとメディアが少し飛び出すので、抜いてください。

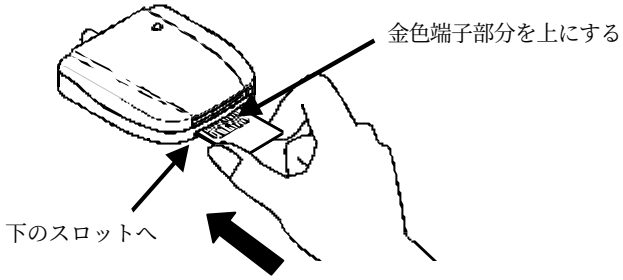


スマートメディアの出し入れ

※メディアの出し入れは、USB-DFRW 本体を手で押さえて行ってください。

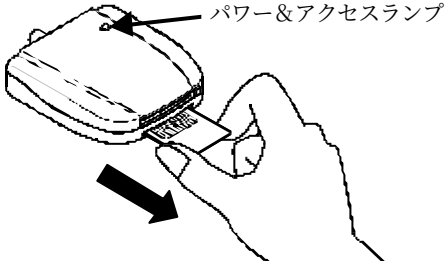
■メディアを入れる■

下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。



■メディアを出す■

1. USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯していないことを確認します。
2. 手でメディアを抜いてください。



《使用編》
デジタルカメラの画像を取り込むには

USB-DFRW および本製品添付の画像管理ソフト「PhotoExplorer 5.0SE」を使うと、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンのハードディスクなどへ簡単・高速に取り込むことができます。デジタルカメラをパソコンに接続する必要もありません。ここでは、PhotoExplorer 5.0SE のインストールおよび画像の取り込み方法を説明します。

PhotoExplorer 5.0SE とは？

PhotoExplorer 5.0SE は、デジタルカメラで撮影した画像ファイルはもちろんのこと、様々なマルチメディアファイル（グラフィック、ビデオ、サウンドファイルなど）の内容をビジュアル化して簡単に検索・管理できる便利なソフトウェアです。PhotoExplorer 5.0SE では、Windows エクスプローラのように、ツリー構造でフォルダを表示し、フォルダ選択と同時にファイルの内容（イメージ）を表示します。ファイルの内容を視覚的に確認しながら管理することができるので、ファイルを開いたり、削除したり、また移動やコピーをしたりするときに、ファイル名を覚えていなくても簡単に見つけることができます。ファイルを他のアプリケーションへ挿入したいときでも、ドラッグ＆ドロップで簡単に実行できます。
さらに PhotoExplorer 5.0SE を活用すると、選択したイメージが並ぶ Web ページが簡単に作成できたり、スライドショーやカレンダー、スクリーンセーバ、壁紙などを作成することもできます。

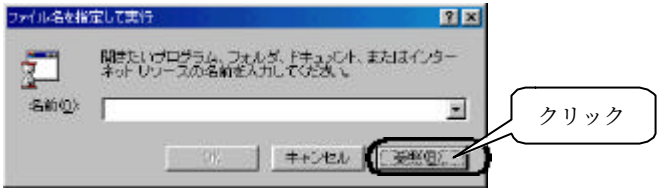
注意！

1. 本製品に添付のPhotoExplorer 5.0SE は Windows 98 対応です。
2. 画像ファイルの形式によっては、PhotoExplorer 5.0SE で扱えない場合があります。詳細はPhotoExplorer 5.0SE のオンラインヘルプを参照してください。

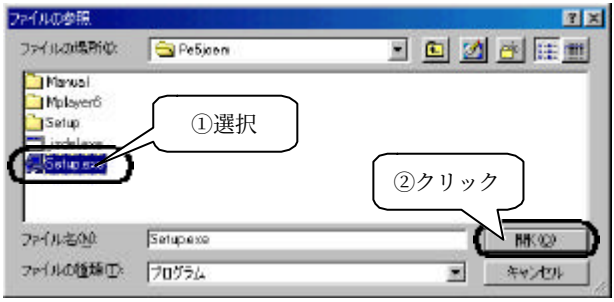
PhotoExplorer 5.0SE をインストールする

1 「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

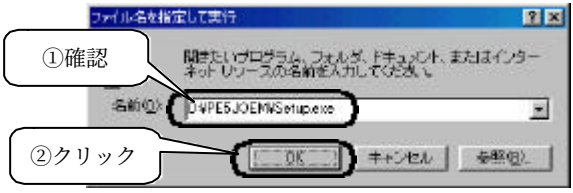
2 『スタート』→『ファイル名を指定して実行』を開き、[参照]ボタンをクリックします。



3 CD-ROM ドライブの Pe5joem フォルダにある Setup.exe を選んで、[開く]ボタンをクリックします。



4 下記のように表示されることを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

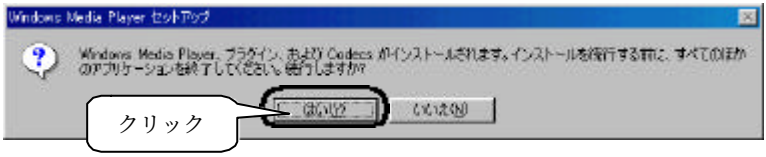


CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例

5 画面の指示にしたがって、インストールを進めてください。

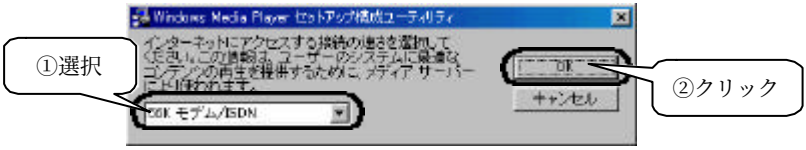
6 下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

7 ReadMe ファイルを読み終えたら、画面を閉じます。下記の画面が表示されているので、[はい]ボタンをクリックします。



8 画面の指示にしたがって進めて行くと、下記の画面が表示されます。インターネットを使用している場合はお使いの接続の速さを選択し、[OK]ボタンをクリックします。

インターネットを使用していない場合は[不明/その他]を選んでください。



9 インストール中に下記のような画面が表示された場合は、[はい]ボタンをクリックしてください。処理を続行します。

10 [OK]ボタンをクリックすると、インストール終了です。

これで、PhotoExplorer 5.0SE のインストールが終了しました。

PhotoExplorer 5.0SE に関するお問い合わせ

PhotoExplorer 5.0SE に関するお問い合わせは、弊社サポートセンターでは受け付けておりません。下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート窓口

TEL　03-5491-5662　FAX 03-5491-5663

受付時間：月～金曜日 10：00～12:00　13:00～17:00

（特定休業日、祝祭日を除く）

サポートE-mail　support@ulead.co.jp

ホームページ　http://www.ulead.co.jp

住所　〒159-0097　東京都世田谷区用賀 4-5-16　ＴＥビル

PhotoExplorer 5.0SE のユーザー登録

PhotoExplorer 5.0SE に関するお問い合わせやアップグレードなどのサービスを受けるためには、ユーリードシステムズ社へのユーザー登録が必要です。ユーザー登録されていない場合、サポートをお断りする場合もございます。ご了承ください。本製品添付のユーリードシステムズ社用ユーザー登録カードに所定の事項を記入してご投函ください。なお、サポート時に必要となるシリアル番号は再発行いたしませんので、お客様の責任で管理していただきますようお願い申し上げます。

デジタルカメラで撮影した画像を取り込む

インストールした PhotoExplorer 5.0SE を使ってデジタルカメラで撮影した画像をパソコンで表示し、必要な画像をハードディスクへ保管してみましょう。

1 デジタルカメラから撮影済みのメディアを取り出します。

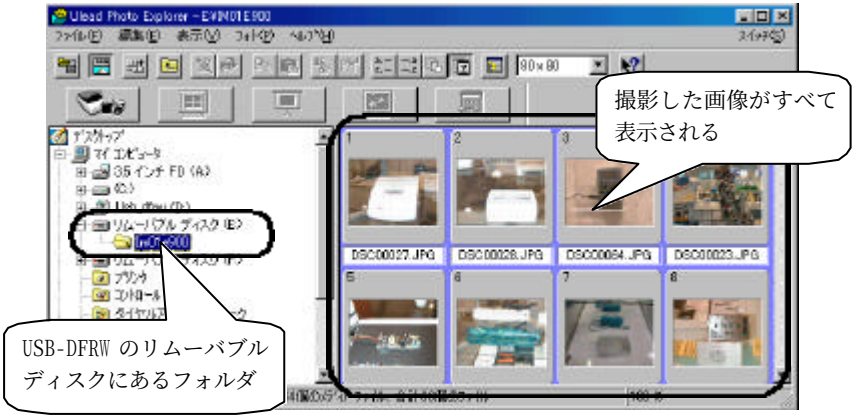
取り出し方はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

2 取り出したメディアを USB-DFRW のドライブに挿入します。

3 『スタート』→『プログラム』→「Ulead PhotoExplorer 5.0」を開き、「Ulead PhotoExplorer 5.0」をクリックします。

4 PhotoExplorer 5.0SE が起動したら、左側のツリー構造からメディアを挿入したドライブ（またはフォルダ）をクリックします。

右側のウィンドウには、選択したドライブ（またはフォルダ）に入っている画像ファイルの内容が表示されます。

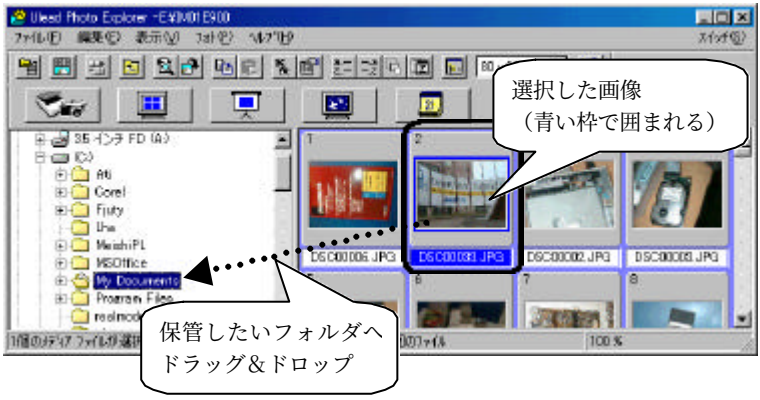


注意！

使用するデジタルカメラによっては、撮影された画像をメディアの中の特定フォルダに保存している場合があります。画像の保存フォルダの名称・場所等については、デジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

5 パソコンに画像を取り込みます。

1. 取り込みたい画像をクリックします（複数選択したい場合は、[CTRL]キーを押しながらクリック）。
2. 保管先（ハードディスクなど）のフォルダを表示します。
3. [CTRL]キーを押しながら、画像をフォルダへドラッグ＆ドロップします。ドラッグ＆ドロップ時に[CTRL]キーを押さないと、移動になります。



6 [ファイル]メニューの[終了]を選ぶか、画面右上の[×]ボタンをクリックすると、PhotoExplorer 5.0SE が終了します。

7 USB-DFRW からメディアを取り出します。

メディアの取り出し方はP20、P21 を参照してください。

PhotoExplorer 5.0SE の詳しい使い方については、オンラインマニュアルを参照してください。快適なマルチメディアライフをお楽しみください。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

デジタルカメラの画像データの他、ワープロ等で作った書類データ等を他の場所に持っていきたいとき、メディアに入れて持ち運んでも OK。フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。
データをメディアにコピー(移動)するときは、下記の手順で行います。

ファイルをコピー（移動）する

通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、P31「フォーマットするには」を参照して、フォーマットを行ってください。

1 USB-DFRW にメディアを挿入します。

2 『マイコンピュータ』で、コピー（移動）元のファイルを指定します。

1. 対象となるファイルが保存されているドライブアイコン（またはフォルダアイコン）をダブルクリックします。
2. 対象となるファイルをクリックします。
3. [編集]メニューから、[コピー]（または[切り取り]）をクリックします。

3 『マイコンピュータ』で、メディアを挿入したドライブをダブルクリックします。

先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではEドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではFドライブ）がスマートメディアのドライブになります。

USB-DFRWがE,Fドライブに割り当てられた場合の例

「デバイスの準備ができていません」
などと表示された場合は…

「困ったときには」P81
をご参照ください。

4 [編集]メニューから「貼り付け」をクリックします。

選択したファイルがコピー（移動）され、指定したリムーバブルディスクに表示されます。

ファイルの削除、フォルダの新規作成など、マイコンピュータ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行なうことができます。
なお、Windows上で作成したデータはMac OSでも読み込むことはできますが、Mac OS上で作成したデータはWindowsでは読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

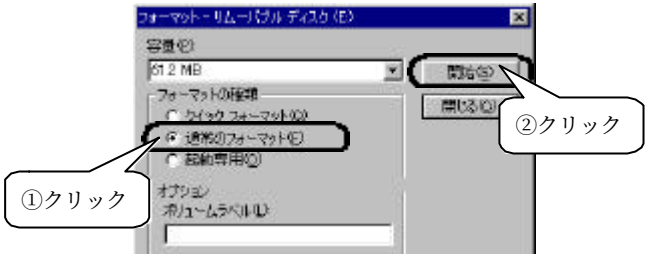
メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でフォーマットが必要になります。

注意！

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、フォーマット操作を間違えると、別のハードディスクなどのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

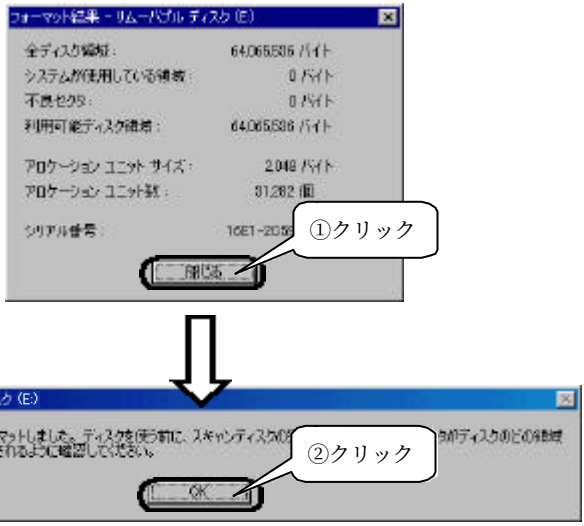
『マイコンピュータ』を開き、USB-DFRW のリムーバブルディスク（メディアを入れた方）を右クリックして、[フォーマット]を選びます。

2 「通常のフォーマット」を選び、[開始]ボタンをクリックします。



3 メディアを確認して、[OK]ボタンをクリックします。

4 フォーマット結果が表示されたら、[閉じる]ボタンをクリックします。下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。

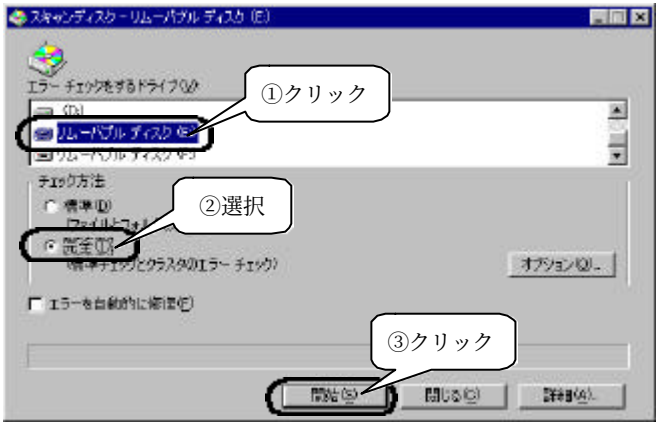


5

「Windows のヘルプ」が表示されるので、下線部をクリックしてスキャンディスクを実行します。

6

フォーマットしたドライブ名を選択し、[完全]をチェックした後、[開始]ボタンをクリックします。



7

スキャンディスクを実行後、結果が表示されたら[閉じる]ボタンをクリックします。
開いている画面をすべて閉じてください。

これでフォーマットは終了です。
なお、Windows でフォーマットしたメディアは Mac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS でフォーマットしたメディアは Windows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

MEMO

3 Windows 2000 で使うには

この章では、本製品を Windows 2000 で使用する場合のインストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Windows 2000 で使用するときは、必ず行ってください。

P37　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P43　インストール終了後の確認

正しくインストールできたかどうかの確認を行います。

メディアの出し入れ方法や注意事項、メディアをパソコンで使用するときのフォーマット方法などを説明します。

P45　基本的な使い方

USB-DFRW の取り外し、メディアの出し入れ、およびその際の注意事項などを説明します。必ずお読みください。

P50　デジタルカメラの画像を取り込むには

デジタルカメラで使用したメディアを本製品に入れて、画像をパソコンに取り込む方法を簡単に説明します。

P51　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P53　フォーマットをするには

通常、メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、このページを参照してフォーマットを行ってください。

《インストール編》
サポートソフトのインストール

ここで説明するインストール作業は、はじめて USB-DFRW を接続したときだけ行います。次回からは、USB-DFRW の USB コネクタを差し込むだけで使用できます。

CD-ROM ドライブ名の確認

インストール時には使用する CD-ROM ドライブ名を指定する必要があります。
使用する CD-ROM のドライブ名がわからないときは、下記の手順にしたがって、ドライブ名を確認してください。

1 **パソコンの電源を入れ、Windows 2000 を起動します。**

2 **『マイコンピュータ』をダブルクリックします。**

3 **「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。**

4 **しばらくすると、CD-ROM ドライブの名称が「USB_DFRW」になります。そのドライブのドライブ名をメモします。**

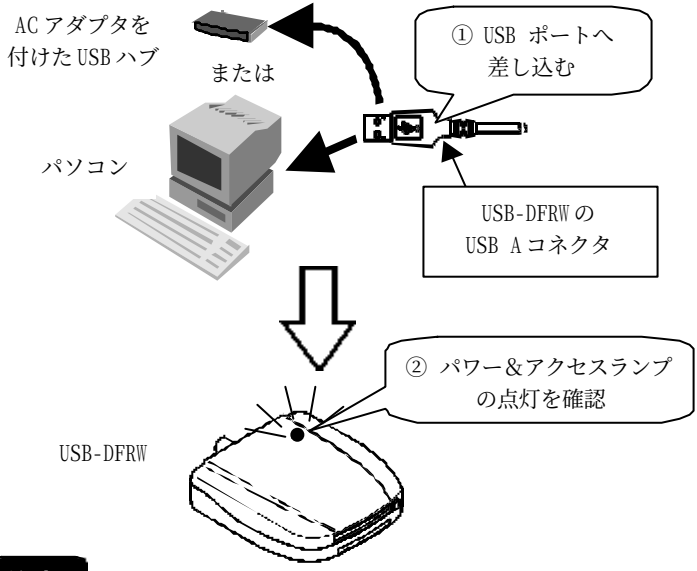
下記の例では CD-ROM ドライブ名は、D となります。

インストール開始

パソコンの電源が入っていない場合は、電源を入れて Windows 2000 を起動してください。

パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、USB ケーブルの USB A コネクタを差し込みます。

USB A コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
USB A コネクタを最後まできちんと差し込むと、USB-DFRW のパワー＆アクセスランプが点灯するので、確認してください。



注意！

1. **パソコン（または USB ハブ）の USB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
2. **USB ハブに接続する場合、必ず USB ハブに AC アダプタを付けて、電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体の USB ポートに接続してください。**

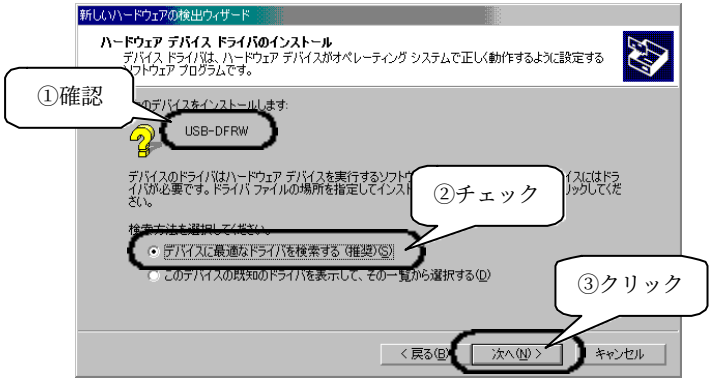
2 しばらくして下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

この画面が表示されない場合は…

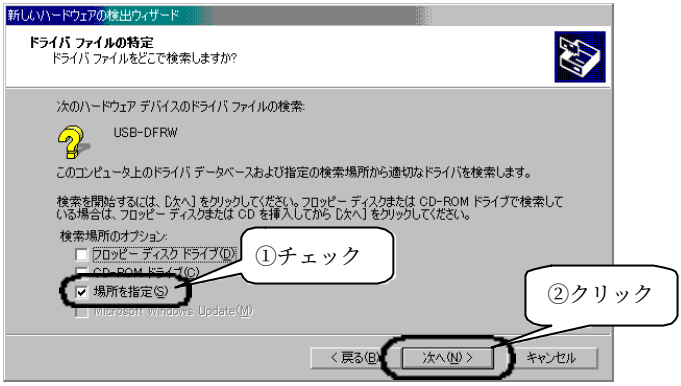
「困ったときには」P78をご参照ください。

3 「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。

4 「USB-DFRW」と表示されていることを確認して、「デバイスに‥」にチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

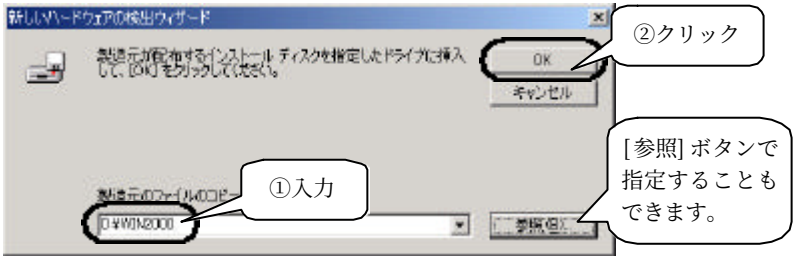


5 「場所を指定」をチェックして、[次へ]ボタンをクリックします。



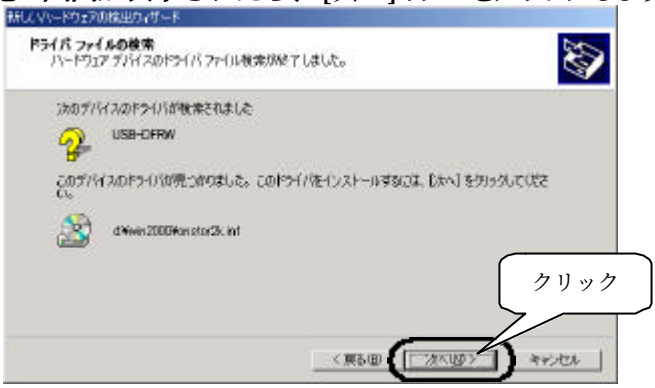
6 「CD-ROMドライブ名」:\WIN2000 と入力し、[OK]ボタンをクリックします。

ここで指定する CD-ROM ドライブ名は、P37「CD-ROM ドライブ名の確認」でメモしたドライブ名になります。



CD-ROM ドライブが D ドライブの場合の例

7 下記の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

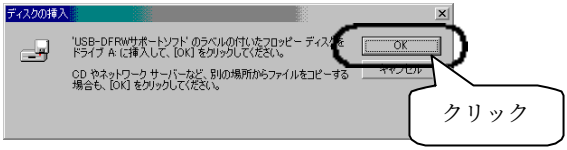


8 しばらくして下記の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

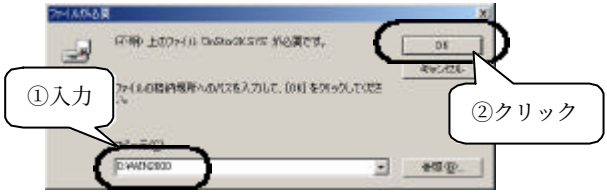
注意！

USB-DFRW のUSB A コネクタを、P38 手順1で差し込んだUSB ポートと異なるUSB ポートに差し込むと、再度新しいハードウェアとして認識される場合があります。
その場合、以下の手順に従ってください。

1．下記の画面が出たら、USB-DFRW サポートソフトをCD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。



※CD-ROM ドライブにセットせずに[OK]ボタンをクリックした場合、下記の画面が出るので、「CD-ROM ドライブ名」:¥WIN2000 と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



CD-ROM ドライブがD ドライブの場合の例

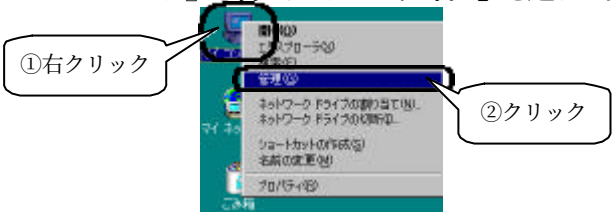
2．しばらくしてインストールは終了します。

これでインストールは終了です。
次は正しくインストールできたかを確認します。
次ページ「インストール終了後の確認」へお進みください。

《インストール編》
インストール終了後の確認

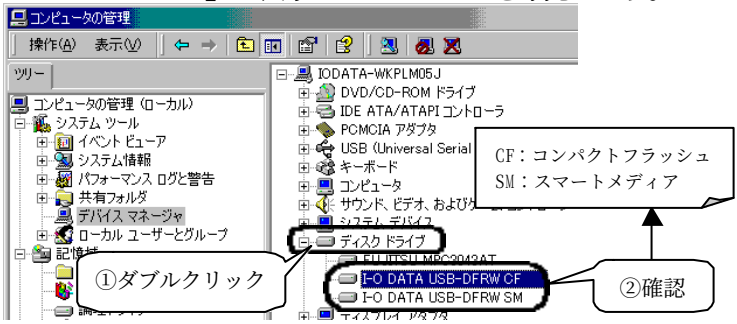
インストールが終了したら、パソコンが USB-DFRW を正しく認識したかどうかの確認を行います。

1 『マイコンピュータ』を右クリックして、「管理」を選びます。



2 [ツリー]タブで「デバイスマネージャ」をクリックし、「表示」メニュー→「デバイス（種類別）」をクリックします。

3 「ディスクドライブ」をダブルクリックし、「I-O DATA USB-DFRW CF」「I-O DATA USB-DFRW SM」が表示されていることを確認します。



「I-O DATA USB-DFRW CF」「I-O DATA USB-DFRW SM」が表示されていない、または、先頭に「！」や「×」マークが付いている場合は…

「困ったときには」P79をご参照ください。

4 『マイコンピュータ』をダブルクリックします。

5 「リムーバブルディスク」が2つ追加されていることを確認します。

割り当てられるドライブ名はお使いの環境によって異なります。
先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではEドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではFドライブ）がスマートメディアのドライブになります。

USB-DFRWがE,Fドライブに割り当てられた場合の例

どのリムーバブルディスクがUSB-DFRWなのかが判別できない場合は…

「困ったときには」P80をご参照ください。

これで、USB-DFRWがパソコンに正しく認識され、リムーバブルディスクとして使用できることが確認できました。
１度これらのインストールを行えば、今後はUSB-DFRWのUSBコネクタを差し込むだけで使えるようになります。USB-DFRWを使わないときは、メディア取り出しを確認後、USB-DFRWを取り外しておけば、USBコネクタを有効に使用できます。

USB-DFRWは、コンパクトフラッシュやスマートメディアを挿入し、リムーバブルディスクとして使用できます。例えば、デジタルカメラで撮影したメディアを挿入すれば、デジタルカメラを接続する必要もなく、高速に画像をパソコンに取り込むことができます。
次ページからの「使用編」をよくお読みの上、ご使用ください。

《使用編》
基本的な使い方

USB-DFRW を使うとき

USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込んでください。
（差し込み方は P 38 参照）

↓

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの場合： P46
・スマートメディアの場合：P47

↓

USB-DFRW を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、下記の要領で USB コネクタを抜いてください。
・パソコンの電源が入っていない状態：
　そのまま USB コネクタを抜いてください。
・パソコンの電源が入っている状態
　P48 以降の終了手順を行って、USB コネクタを抜いてください。
　終了手順を行わずに USB-DFRW を抜くと、予期しない障害が発生する可能性があります。

注意！

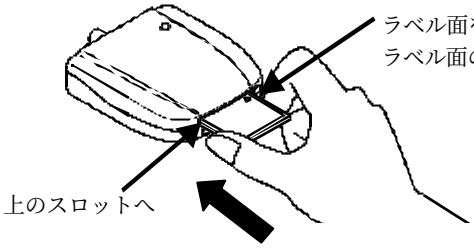
1. DynaBook シリーズでお使いの場合は、Windows のスタンバイ機能を使用しないでください。
2. USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの出し入れ

※メディアの出し入れは、USB-DFRW 本体を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

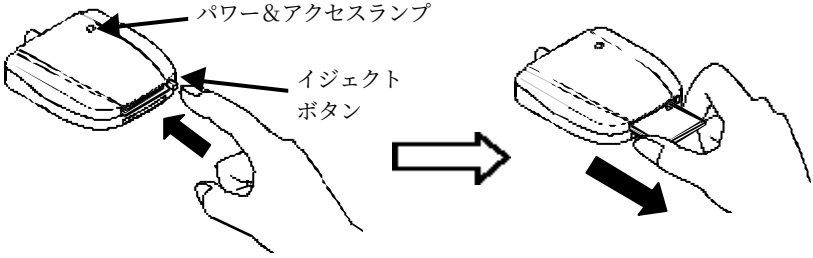
上のスロットに入れます。メディアのラベル面を上にし、▲印の方を奥にし、挿入口に対して水平にして、手で最後まで押し込んでください。



■メディアを出す■

1. パワー＆アクセスランプが約５秒間点灯状態であることを確認します。
   または、
   下記の手順に従い、メディアの取り出しを実行します。
   - 「マイコンピュータ」→取り出すメディアの「リムーバブルディスク」を右クリックします。
   - 「取り出し」をクリックします。

2. イジェクトボタンを押すとメディアが少し飛び出すので、抜いてください。

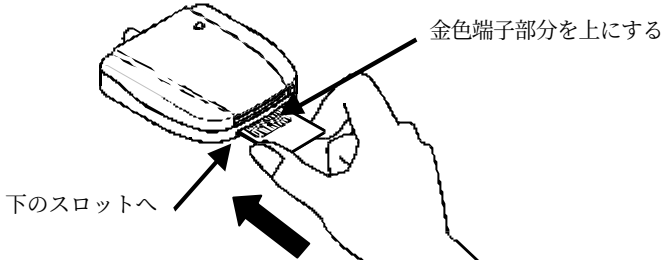


スマートメディアの出し入れ

※メディアの出し入れは、USB-DFRW 本体を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

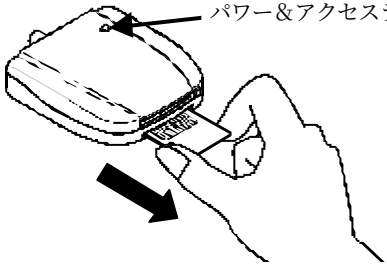
下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。



■メディアを出す■

1. パワー＆アクセスランプが約５秒間点灯状態であることを確認します。
   または、
   下記の手順に従い、メディアの取り出しを実行します。
   ・「マイコンピュータ」→取り出すメディアの「リムーバブルディスク」を右クリックします。
   ・「取り出し」をクリックします。

2. 手でメディアを抜いてください。

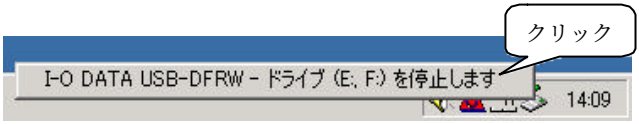


OS 上でUSB-DFRW を取り外す方法

■終了手順－その１■

1 画面右下のタスクトレイのアイコンをクリックします。

2 表示された[～を停止します]をクリックします。



3 [OK]ボタンをクリックします。

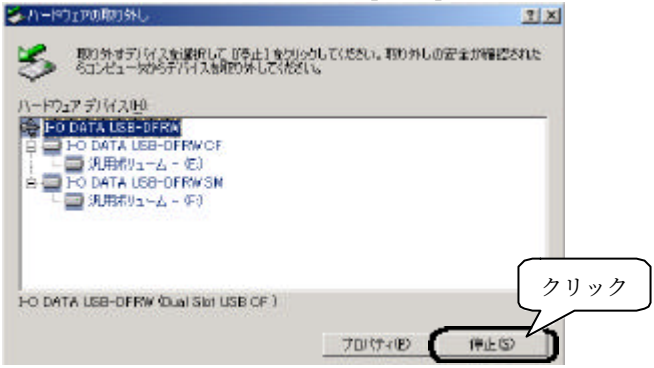
4 USB-DFRW の USB コネクタを抜きます。

■終了手順－その２■

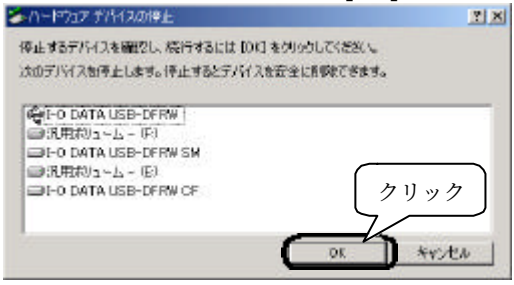
1 **画面右下のタスクトレイのアイコンをダブルクリックします。**

「ハードウェアの取り外し」が開きます。

2 **『I-O DATA USB-DFRW』を選択し、[停止]ボタンをクリックします。**



3 **『I-O DATA USB-DFRW』を確認し、[OK]ボタンをクリックします。**

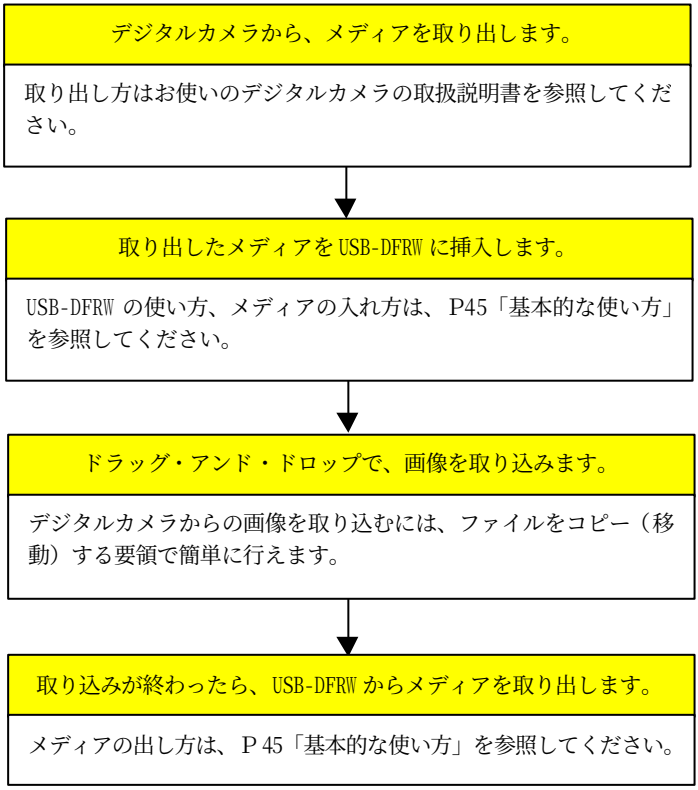


4 **[OK]ボタンをクリックします。**

5 **USB-DFRW の USB コネクタを抜きます。**

《使用編》
デジタルカメラの画像を取り込むには

USB-DFRW を使うと、デジタルカメラで撮影した画像を、カメラをパソコンに接続せずに高速に取り込むことができます。
手順は以下の通りです。



USB-DFRW を使って、快適なマルチメディアライフをお楽しみください。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

デジタルカメラの画像データの他、ワープロ等で作った書類データ等を他の場所に持っていきたいとき、メディアに入れて持ち運んでも OK。フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。
データをメディアにコピー(移動)するときは、下記の手順で行います。

ファイルをコピー（移動）する

通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、P53「フォーマットするには」を参照して、フォーマットを行ってください。

1 USB-DFRW にメディアを挿入します。

2 『マイコンピュータ』で、コピー（移動）元のファイルを指定します。

1. 対象となるファイルが保存されているドライブアイコン（またはフォルダアイコン）をダブルクリックします。
2. 対象となるファイルをクリックします。
3. [編集]メニューから、[コピー]（または[切り取り]）を選びます。

3 『マイコンピュータ』で、メディアを挿入したドライブをダブルクリックします。

先に表示されている方がコンパクトフラッシュのドライブ（下記例ではＥドライブ）で、後に表示されている方（下記例ではＦドライブ）がスマートメディアのドライブになります。

「デバイスの準備ができていません」
などと表示された場合は…

「困ったときには」P82
をご参照ください。

4 [編集]メニューから「貼り付け」をクリックします。

選択したファイルがコピー（移動）され、指定したリムーバブルディスクに表示されます。

ファイルの削除、フォルダの新規作成など、マイコンピュータ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行なうことができます。

なお、Windows 上で作成したデータは Mac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上で作成したデータは Windows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

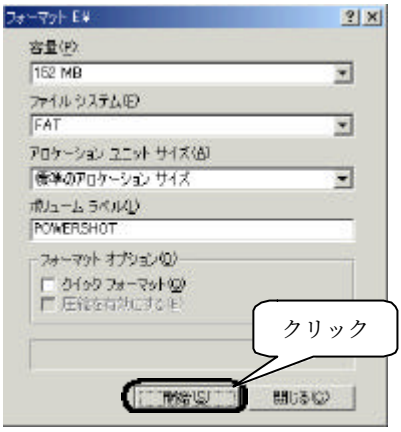
メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でフォーマットが必要になります。

注意！

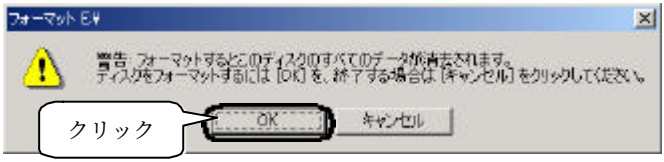
フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、フォーマット操作を間違えると、別のハードディスクなどのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

『マイコンピュータ』を開き、USB-DFRW のリムーバブルディスク（メディアを入れた方）を右クリックして、[フォーマット]を選びます。

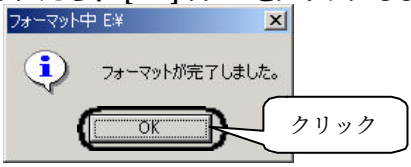
2 [開始]ボタンをクリックします。



3 メディアを確認して、[OK]ボタンをクリックします。



4 下の画面が表示されたら、[OK]ボタンをクリックします。



これでフォーマットは終了です。
なお、Windows でフォーマットしたメディアは Mac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS でフォーマットしたメディアは Windows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

4 Macintosh で使うには

この章では、本製品を Macintosh で使用する場合の、インストールから使用方法までを説明します。

インストール編（必須）

本製品を Macintosh で使用するときは、必ず行ってください。

P57　インストールする前に

インストールする前に、ご使用の Mac OS のバージョンなどを確認してください。バージョンによっては、インストールする前に Mac OS のバージョンアップや必要なソフトウェアのインストールを行う必要があります。

P62　サポートソフトのインストール

サポートソフトのインストールを説明します。

P64　パソコンへ接続する

USB-DFRW をパソコンに接続します。

メディアの出し入れ方法や注意事項、メディアをパソコンで使用するときのフォーマット方法などを説明しています。

P66　基本的な使い方

USB-DFRWの取り外し、メディアの出し入れ、およびその際の注意事項などを説明しています。必ずお読みください。

P69　デジタルカメラの画像を取り込むには

デジタルカメラで使用したメディアを本製品に入れて、画像をパソコンに取り込む方法を簡単に説明しています。

P70　ディスクドライブとして使用するには

本製品はリムーバブルディスクドライブとして使用することができます。その場合の使い方を説明します。

P72　フォーマットするには

メディア購入時はフォーマットされた状態なので、そのまま使えます。
ただし、特にフォーマットが必要な場合、このページを参照してフォーマットを行ってください。

《インストール編》
インストールする前に

インストールを行う前に、下記手順にしたがってご使用の Mac OS のバージョンを確認してください。

バージョンの確認

1 ［Apple システム・プロフィール］を選択します。

［Apple］メニューをクリックします。開いたメニューの中に表示された［Apple システム・プロフィール］をクリックします。

2 Mac OS のバージョンを確認します。

表示されたバージョンが…

8.5 未満の場合は…

Mac OS を 8.5 以降にバージョンアップしてください。その後、アップした OS に対応する箇所を参照してください。

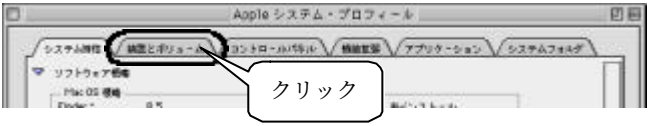
8.5 の
場合は…

手順 3 へ進んでください。

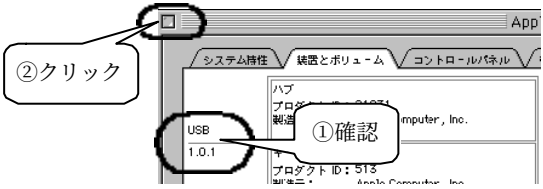
8.6 以降の
場合は…

これ以上の作業は必要ありません。
P62「サポートソフトのインストール」へ進んでください。

3 [装置とボリューム] タブをクリックします。



4 USB Manager のバージョンを確認後、左上の[クローズボックス]をクリックして「Apple システム・プロフィール」を閉じます。



表示されたバージョンが…

1.1 未満の場合は…

次ページ「USB Manager のアップデート」へ進んでください。

1.1 以降の場合は…

これ以上の作業は必要ありません。
P62「サポートソフトのインストール」へ進んでください。

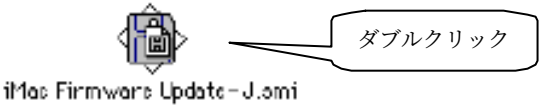
USB Manager のアップデート

USB-DFRW を使うためには、USB Manager のバージョンを 1.1 にアップデートする必要があります。以下の手順は参考例です。アップデートに関する詳細はアップルコンピュータ株式会社ホームページ（http://www.apple.co.jp/）をご覧になるか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

1 必要なファイルを手に入れます。

「iMac Update 1.1」および「iMac Firmware Update」を手に入れる必要があります。アップルコンピュータ社のホームページ(http://www.apple.co.jp/)よりダウンロードするか、アップルコンピュータ株式会社にお問い合わせください。

2 入手した「iMac Firmware Update-J.smi」をダブルクリックして実行します。



3 同意書を確認し、『同意します』をクリックします。

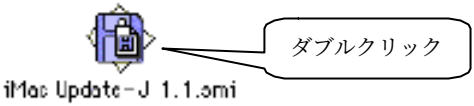
デスクトップ上に［iMac Firmware Update 1.0］アイコンが表示されます。

4 『iMac Firmware Update 1.0』アイコンをダブルクリックして開きます。

5 [iMac Firmware Update について]アイコンをダブルクリックして実行します。

6 後は、「Mac Firmware Update について」の手順にしたがって処理を進めてください。

7 入手した「iMac Update-J1.1.smi」をダブルクリックして実行します。

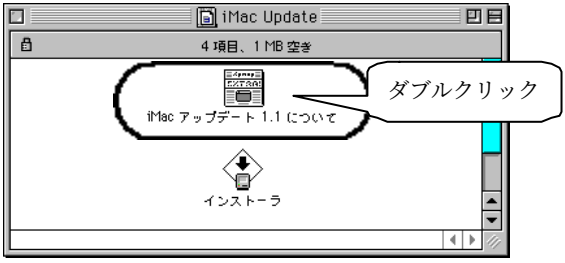


8 同意書を確認し、「同意します」をクリックします。

デスクトップ上に［iMac Update］アイコンが表示されます。

9 「Mac Update」アイコンをダブルクリックして開きます。

10 [iMac アップデート 1.1 について]アイコンをダブルクリックして実行します。



11 後は、「iMac アップデート 1.1 について」の手順にしたがって処理を進めてください。

以上で、USB Manager はバージョン 1.1 にアップデートされました。
次ページ「サポートソフトのインストール」へ進んでください。

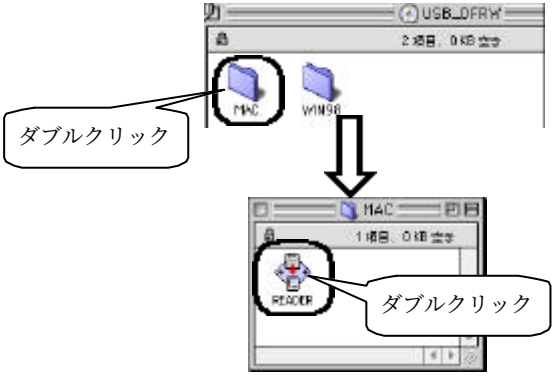
《インストール編》
サポートソフトのインストール

以下の作業は、USB-DFRW をパソコン（またはUSB ハブ）に接続する前に行ってください。

1 パソコンの電源を入れ、Macintosh を起動します。

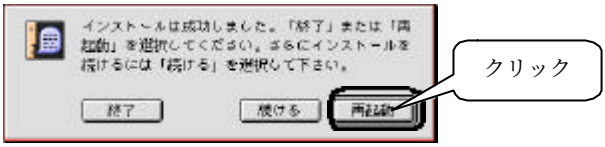
2 「USB-DFRW サポートソフト」ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM アイコンがマウントされます。

3 CD-ROM ドライブの Mac フォルダを開き、[READER]をダブルクリックします。



4 [はい]ボタンをクリックします。

5 しばらくして下記の画面が表示されたら、[再起動]ボタンをクリックします。



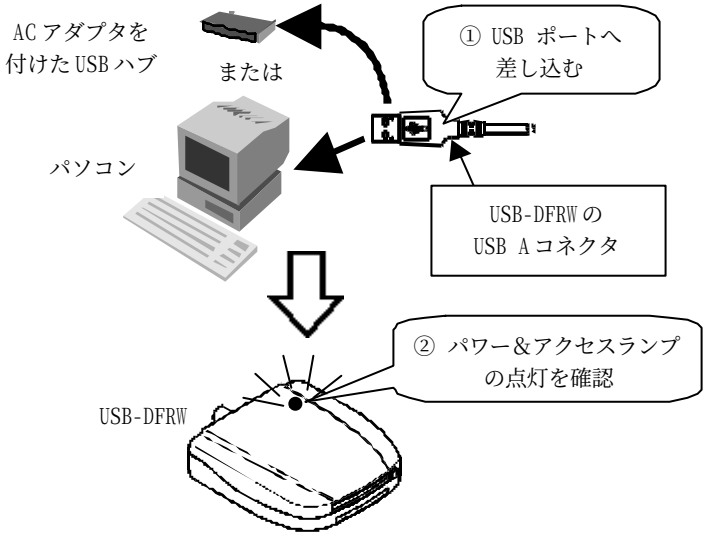
パソコンが再起動したらソフトウェア側の準備はＯＫです。
この作業を行うのは、初めて USB-DFRW をお使いになるときだけです。
それでは、次に USB-DFRW を接続してみましょう。次ページへ進んでください。

《インストール編》
パソコンへ接続する

USB-DFRW は Mac OS 起動中でも接続することができます。

パソコン（または USB ハブ）の USB ポートに、USB ケーブルの USB A コネクタを差し込みます。

USB A コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
USB A コネクタを最後まできちんと差し込むと、USB-DFRW のパワー＆アクセスランプが点灯するので、確認してください。



「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された場合は…

「困ったときには」P84
をご参照ください。

注意！

1. **パソコン（またはUSB ハブ）のUSB ポートの位置は、お使いの機器の取扱説明書をご参照ください。**
2. **USB ハブに接続する場合、必ずUSB ハブにAC アダプタを付けて電源を供給してください。また、ご利用の環境によっては、USB ハブに接続できない場合があります。その場合はパソコン本体のUSB ポートに接続してください。**

これでUSB-DFRWが使用できるようになりました。
今後はUSB-DFRWのUSBコネクタを差し込むだけで使えるようになります。USB-DFRWを使わないときは、メディア取り出しを確認後、USB-DFRWを取り外しておけばUSBコネクタを有効に使用できます。

USB-DFRWは、コンパクトフラッシュやスマートメディアを挿入し、リムーバブルディスクとして使用できます。例えば、デジタルカメラで撮影したメディアを挿入すれば、デジタルカメラを接続する必要もなく、高速に画像をパソコンに取り込むことができます。
次ページからの「使用編」をよくお読みの上、ご使用ください。

《使用編》
基本的な使い方

USB-DFRW を使うとき

USB コネクタをパソコンの USB ポートに差し込んでください。
（差し込み方は P 64 参照）

↓

メディアの出し入れ

メディアの出し入れ方法については、下記ページを参照してください。
・コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの場合：次ページ
・スマートメディアの場合：P68

↓

USB-DFRW を使わないとき

メディアが入っていないことを確認してから、USB コネクタを抜いてください。USB コネクタの抜き差しは、パソコンの電源が入っている状態でも入っていない状態でも可能です。

注意！

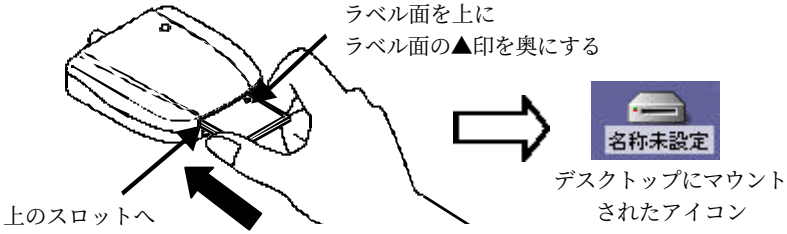
1. PowerBook G3 でお使いの場合は、Mac OS のスリープ機能を使用しないでください。
2. USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯している時は、メディアにアクセスしていますので、絶対にメディアは抜かないでください。

コンパクトフラッシュ、マイクロドライブの出し入れ

※メディアの出し入れは、USB-DFRW 本体を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

上のスロットに入れます。メディアのラベル面を上にし、▲印の方を奥にし、挿入口に対して水平にして、手で最後まで押し込んでください。
デスクトップにドライブアイコンが表示されます。（メディアのフォーマット状態によってドライブアイコンの名称が変わります）

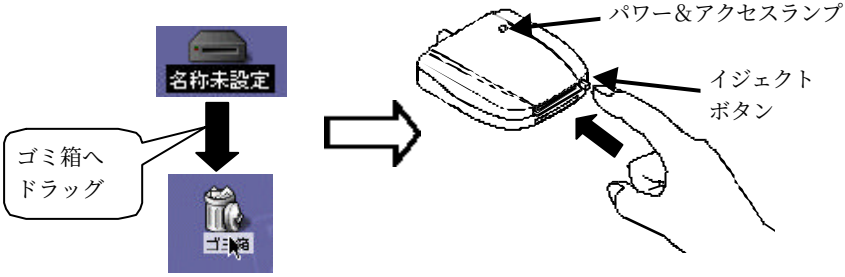


アイコンがマウントされない場合は…

「困ったときには」P85
をご参照ください。

■メディアを出す■

1. USB-DFRW の接続中にパワー＆アクセスランプが点滅または消灯していないことを確認します。
2. ドライブアイコンをゴミ箱に捨ててから、イジェクトボタンを押して、メディアを抜いてください。

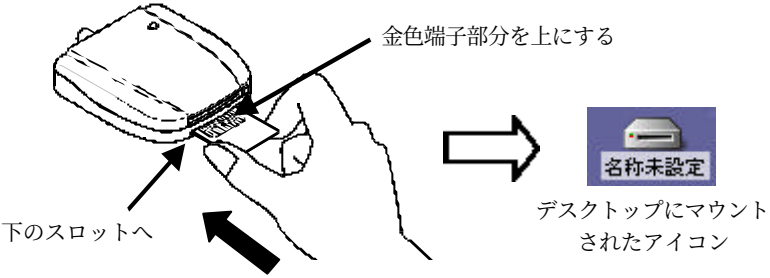


スマートメディアの場合

※メディアの出し入れは、USB-DFRW 本体を手で押さえて行ってください。

■メディアを入れる■

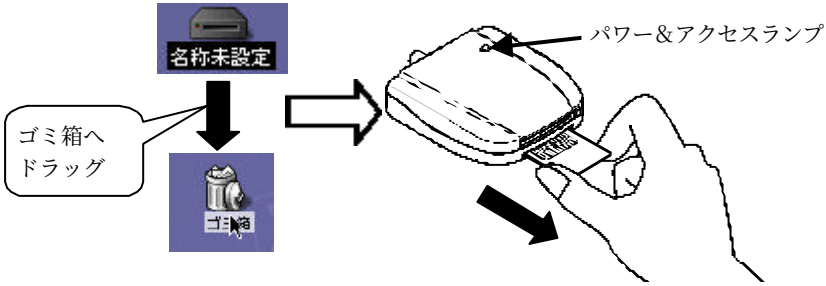
下のスロットに入れます。メディアの金色端子面を上にし、挿入口に対し水平にして、手で最後まで押し込んでください。
デスクトップにドライブアイコンが表示されます(メディアのフォーマット状態によってドライブアイコンの名称が変わります)。



アイコンがマウントされない場合は… 「困ったときには」P85をご参照ください。

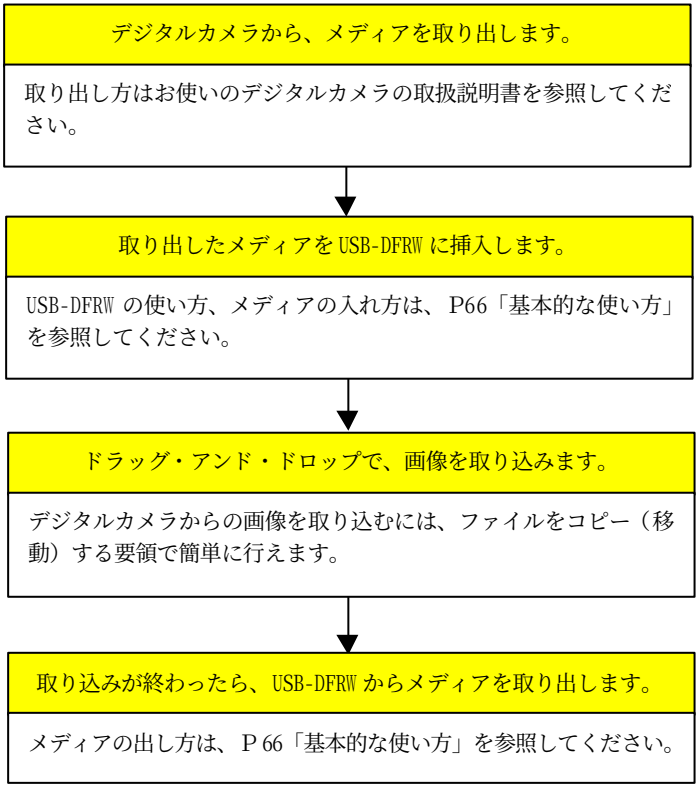
■メディアを出す■

1. USB-DFRW の接続中にパワー&アクセスランプが点滅または消灯していないことを確認します。
2. ドライブアイコンをゴミ箱に捨ててから、メディアを手で抜いてください。



《使用編》
デジタルカメラの画像を取り込むには

USB-DFRW を使うと、デジタルカメラで撮影した画像を、カメラをパソコンに接続せずに高速に取り込むことができます。
手順は以下の通りです。



USB-DFRW を使って、快適なマルチメディアライフをお楽しみください。

《使用編》
ディスクドライブとして使用するには

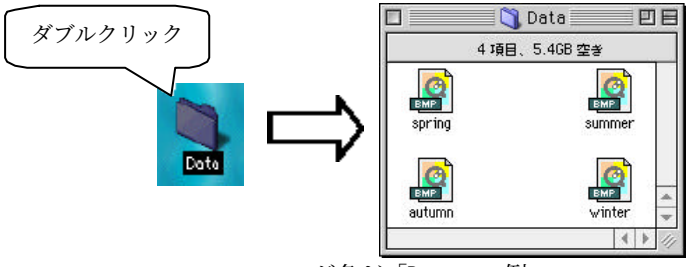
デジタルカメラの画像データの他、ワープロ等で作った書類データ等を他の場所に持っていきたいとき、メディアに入れて持ち運んでも OK。フロッピーディスクよりはるかに容量が大きくメディアサイズも小さいので、安心です。
データをメディアにコピー(移動)するときは、下記の手順で行います。

ファイルをコピーする

通常、メディアはフォーマットされた状態で発売されていますので、すぐにファイルをコピーすることができます。方法はハードディスクなどの場合と全く同じです。特にフォーマットが必要な場合は、コピーする前に、P72「フォーマットするには」を参照して、フォーマットを行ってください。

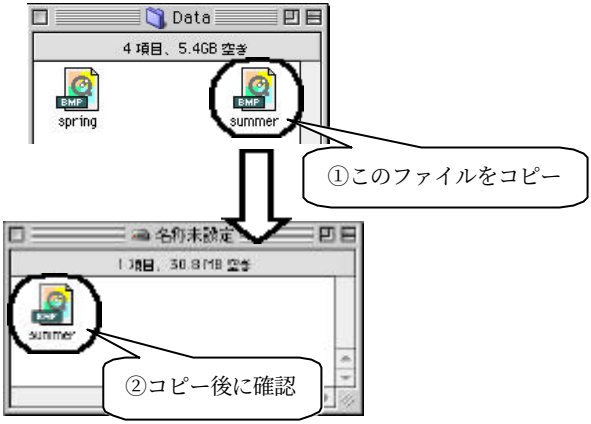
1 USB-DFRW にメディアを挿入します。

2 コピー元のファイルが保存されているフォルダアイコンをダブルクリックして、開きます。



フォルダ名が「Data」の例

3 デスクトップ上で、メディアを挿入したドライブにコピーします。



ファイルの削除、フォルダの新規作成など、デスクトップ上での操作は、ハードディスクなどの場合と同じように行なうことができます。
なお、Windows 上で作成したデータは Mac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS 上で作成したデータは Windows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

《使用編》
フォーマットするには

デジタルカメラで使う場合は、カメラ側でメディアをフォーマットしてください。方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください。

メディアをパソコンだけで使う場合で、特にフォーマットが必要となる場合は、下記に示す手順でフォーマットを行ってください。ただし、このフォーマットを行うとデジタルカメラでは使用できない場合もありますので、その場合は、再度デジタルカメラ側でフォーマットが必要になります。

注意！

フォーマットを行った場合、メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要ならば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。
また、最初に選択するドライブアイコンを間違えると、別のドライブのデータを消去してしまう可能性があるので、操作は慎重に行ってください。

フォーマットしたいドライブアイコンを選択してから、[特別]メニューの[ディスクの初期化]をクリックします。

メディアを２枚入れているときは選択するアイコンを間違えないようにご注意ください。

2 メディアを確認して、[初期化]ボタンをクリックします。

3 画面が消えたら、フォーマット完了です。

これでフォーマットは終了です。
なお、Windows でフォーマットしたメディアは Mac OS でも読み込むことはできますが、Mac OS でフォーマットしたメディアは Windows では読み込むことはできませんので、ご注意ください。

MEMO

5 付　録

ここでは、以下のことを説明します。必要に応じてお読みください。

P76　困ったときには＜目次＞

うまく取り付けできない、思ったように動作しないときなどには、同じ現象がないかどうか、まず、ここを参照ください。

P78　困ったときには

ここには問題の現象とその対処方法が書かれています。問題の大半はすぐに解決できることです。是非、お試しください。

P86　ハードウェア仕様

本製品の基本仕様を説明してあります。

P87　用語解説

本製品に関する基本的な用語を簡単に説明してあります。

困ったときには＜目次＞

状態	参照頁
USB-DFRW の USB A コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	78
USB-DFRW を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows 2000 では「新しいハードウェアの検索ウィザード」)画面が表示されない	
デバイスマネージャによる確認で、「I-O DATA USB-DFRW CF」、「I-O DATA USB-DFRW SM」のいずれかが表示されない、または、先頭に「！」や「×」マークが付いている	79
どのリムーバブルディスクが USB-DFRW なのかが判別できない	

使用時のトラブル (Windows 編)

状態	参照頁
マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない	82
リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックすると「デバイスの準備ができていません」などと表示される	
デジタルカメラの画像取り込みで、画像が取り込めない	83
デジタルカメラでメディアに画像が保存できなくなった	
リムーバブルディスクから動画ファイル(avi ファイル)を再生すると、音飛びすることがある	

状態	参照頁
USB-DFRW の USB A コネクタがパソコンの USB ポートに入らない	84
「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された	
「今より多くの電力が必要なので、操作できません」と表示された	

使用時のトラブル (Macintosh 編)

状態	参照頁
ドライブアイコンがマウントされない	85
USB-DFRW の接続タイミングやメディアの挿入状況によって、[Apple システム・プロフィール]ー[装置とボリューム]でのデバイス表示が違う	

困ったときには

接続から動作確認まで（Windows編）

USB-DFRW の USB A コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因 USB-DFRW の USB A コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えてもう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに力は必要ありません。

原因 パソコン（USB ハブ）側の USB ポートが違う。

対処 パソコン（USB ハブ）側の USB ポートの位置を取扱説明書などでご確認ください。

USB-DFRW を接続しても「新しいハードウェアの追加ウィザード」(Windows 2000 は「新しいハードウェアの検索ウィザード」)画面が表示されない

原因 パソコンの USB ポートに、USB-DFRW の USB A コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと USB-DFRW の USB A コネクタがささっていることを確認してください。

原因 すでにインストール済みである。

対処 USB-DFRW を１度インストールすると、USB-DFRW の USB A コネクタを抜き差ししても「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面は表示されません。USB A コネクタを差し込むだけで接続準備完了となります。

原因 USB ハブに AC アダプタから電源が供給されていない。

対処 USB ハブをご使用になる場合は、必ず AC アダプタを USB ハブに接続し電源を供給してください。
それでも改善されない場合は、ご利用のパソコンの環境で USB ハブをご利用いただくことができない可能性があります。直接パソコン本体の USB ポートに接続してみてください。

デバイスマネージャによる確認で、「I-O DATA USB-DFRW CE」、「I-O DATA USB-DFRW SM」のいずれかが表示されない、または、先頭に「!」や「×」マークが付いている

原因 パソコンの USB ポートに、USB-DFRW の USBA コネクタがきちんとささっていない。

対処 パソコンの USB ポートに最後まできちんと USB-DFRW の USB A コネクタがささっていることを確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 パソコン本体に USB-DFRW を接続した状態で、「!」または「×」マークが付いているドライバをクリックして、[削除]ボタンを押します。その後、[更新]ボタンを押すとインストールが始まりますので、P9「サポートソフトのインストール」(Windows 2000 はP37)を参照してインストールをやり直してください。

原因 USB ハブに接続した場合に、USB ハブから供給される電源が不足している。

対処 USB ハブに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。それができないときは、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 デバイス認識されていない（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

どのリムーバブルディスクが USB-DFRW なのかが判別できない(WIN98)

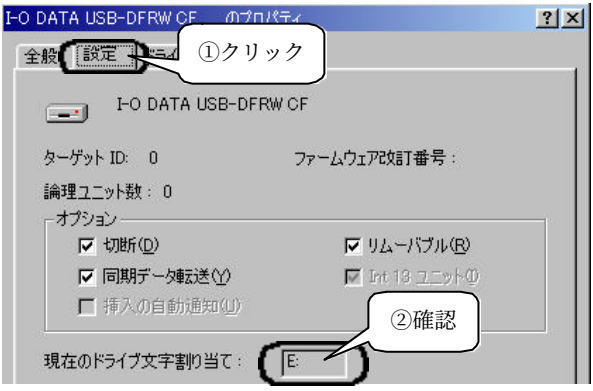
対処 USB-DFRW からメディアを取り出した後、下記の手順で確認してください。

1 『マイコンピュータ』を右クリックして、[プロパティ]を選びます。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 [ディスクドライブ]をダブルクリックして、[I-O DATA USB-DFRW CF]または[I-O DATA USB-DFRW SM]をダブルクリックします。

4 [設定]タブをクリックして、[現在のドライブ文字割り当て]を確認します。
ここに表示されているアルファベットが、USB-DFRW のコンパクトフラッシュのドライブ名になります。スマートメディアのドライブ名はこのドライブ名の次のアルファベットになります。
（下記の例では、コンパクトフラッシュのドライブ名がE、スマートメディアのドライブ名がF になります。）



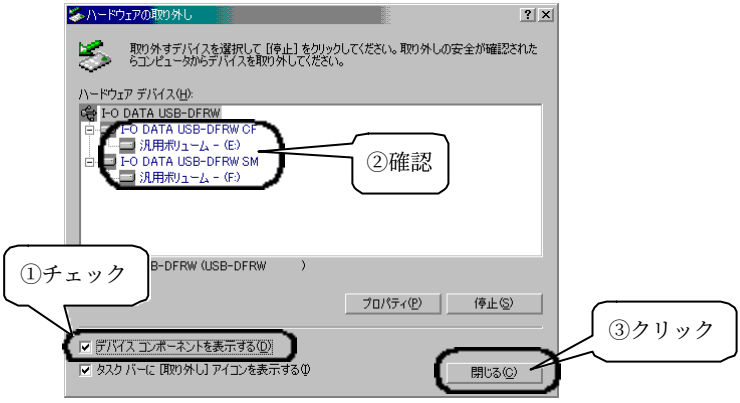
5 確認できたら、[OK]ボタンや[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

どのリムーバブルディスクが USB-DFRW なのかが判別できない(WIN2000)

対処 USB-DFRW にメディアを差し込んだまま、下記の手順で確認してください。

1 画面右下のタスクトレイのアイコンをダブルクリックします。
「ハードウェアの取り外し」が開きます。

2 「デバイスコンポーネントを表示する」にチェックして、「ハードウェア デバイス」でドライブ名を確認します。
（下記の例では、コンパクトフラッシュのドライブ名がE、スマートメディアのドライブ名がF になります。）



3 確認できたら、[閉じる]ボタンをクリックして、画面を閉じます。

使用時のトラブル（Windows 編）

マイコンピュータでリムーバブルディスクアイコンが表示されない

原因 USB-DFRW が接続されていない、または接続が正しくない。

対処 USB-DFRW の USB コネクタを取り外した状態では、マイコンピュータにリムーバブルディスクアイコンは表示されません。接続を確認してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 P16「インストール終了後の確認」(Windows 2000 は P43) を行ってください。「！」または「×」マークが付いているドライバがあれば、パソコン本体に USB-DFRW を接続した状態で、そのドライバをクリックして、[削除]ボタンを押します。その後、[更新]ボタンを押すとインストールが始まりますので、P9「サポートソフトのインストール」(Windows 2000 は P37)を参照して、インストールをやり直してください。

原因 デバイス認識されていない（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- いったん、USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

リムーバブルディスクアイコンをダブルクリックすると「デバイスの準備ができていません」などと表示される

原因 メディアがセットされていない、または向きを間違えてセットしている。

対処 メディアが正しくセットされていることを確認してください。
メディアの出し入れ方法は P19「基本的な使い方」(Windows 2000 は P45) を参照してください。

原因 メディアがセットされていないドライブをダブルクリックしている。

対処 USB-DFRW にはコンパクトフラッシュ用とスマートメディア用の２つのリムーバブルドライブがあります。
コンパクトフラッシュを挿入した場合は、アルファベット順で先のドライブ名を、スマートメディアを挿入した場合は後のドライブ名をダブルクリックしてください。

原因 メディアがフォーマットされていない。

対処 メディアをデジタルカメラなどで使用する場合は、デジタルカメラ側でフォーマットしてください。フォーマット方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください（デジタルカメラでフォーマットしてもパソコン側でアクセスできます)。
パソコンのみでご使用の場合は、 P31「フォーマットするには」(Windows 2000 はP53)を参照してフォーマットしてください。

デジタルカメラの画像取り込みで、画像が取り込めない

原因 取り込み時に指定するドライブまたはフォルダが間違っている。

対処 メディアを挿入したリムーバブルディスクが選択されているか確認してください。また、画像はそのメディアの中の特定フォルダに保存されている場合があります。デジタルカメラの取扱説明書で確認してください。

原因 挿入したメディアが違っている。

対処 画像が撮影されたメディアかどうか確認してください。

デジタルカメラでメディアに画像が保存できなくなった

原因 パソコン側でメディアをフォーマットした、または必要なフォルダやファイルを削除してしまった。

対処 デジタルカメラ側でもう１度フォーマットしてください。（メディアに保存されている内容はすべて消去されます。必要であれば、バックアップを取ってからフォーマットしてください。）フォーマット方法はデジタルカメラの取扱説明書を参照してください

リムーバブルディスクから動画ファイル(avi ファイル)を再生すると、音飛びすることがある

対処 動画ファイルをパソコン本体のハードディスクにコピーして、パソコン本体から再生してください。

接続から動作確認まで (Macintosh 編)

USB-DFRW の USB A コネクタがパソコンの USB ポートに入らない

原因 USB-DFRW の USB コネクタの向きが正しくない。

対処 コネクタの向きを変えてもう１度差し込んでください。向きが一致していれば、コネクタを差し込むのに力は必要ありません。

原因 パソコン（USB ハブ）側の USB ポートが違う。

対処 パソコン（USB ハブ）側の USB ポートの位置を取扱説明書などでご確認ください。

「必要なソフトウェアが見つかりません」と表示された

原因 正しくインストールされていない。

対処 USB-DFRW を取り外します。
P62「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールをやり直してください。インストール終了後、パソコンを再起動します。
その後、USB-DFRW を再度接続してみてください。

原因 デバイス認識されていない（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- いったん、USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

「今より多くの電力が必要なので、操作できません」と表示された

原因 USB ハブに接続した場合に、USB ハブから供給される電源が不足している。

対処 USB ハブに AC アダプタを接続し、電源を供給してください。それができないときは、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 デバイス認識されていない（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- いったん、USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

使用時のトラブル（Macintosh 編）

ドライブアイコンがマウントされない

原因 メディアがセットされていない、または向きを間違えてセットしている。

対処 USB-DFRW にメディアを正しくセットしないと、ドライブアイコンはマウントされません。メディアが正しくセットされていることを確認してください。
メディアの出し入れ方法はP66「基本的な使い方」を参照してください。

原因 正しくインストールされていない。

対処 USB-DFRW を取り外します。
P62「サポートソフトのインストール」を参照して、インストールをやり直してください。インストール終了後、パソコンを再起動します。
その後、USB-DFRW を再度接続してみてください。

原因 デバイス認識されていない（USB ハブに接続した場合）。

対処 以下の方法を試してみてください。

- USB コネクタを抜いて、接続し直す。
- USB ハブの別のポートに接続してみる。

それでも同じ現象の場合は、USB ハブを使わず、パソコン本体の USB ポートに接続してください。

原因 メディアの入れ方が遅すぎる。

対処 USB-DFRW を接続中にアクセスランプが点滅または消灯していないことを確認した後、USB コネクタを抜いて再度接続し直しメディアを素早く入れてみてください。

USB-DFRW の接続タイミングやメディアの挿入状況によって、[Apple システム・プロフィール]―[装置とボリューム]でのデバイス表示が違う

原因 USB-DFRW のドライバ仕様のため。

対処 メディア挿入済みの USB-DFRW を接続してから、OS を起動する場合と、その他の場合（OS 起動後に USB-DFRW を接続した場合など）では、デバイス表示が異なる場合があります。動作には問題ありませんのでそのままご使用ください。

ハードウェア仕様

型式番号	USB-DFRW
インターフェイス	USB Specification Rev 1.1準拠
転送方式	コントロール転送、バルク転送
転送速度	1.5MB/sec
電源電圧	DC 5.0V（バスパワーによる供給）
消費電流	90mA
対応メディア	コンパクトフラッシュ（CFA準拠のもの） スマートメディア（5V/2,4M、3.3V/4,8,16,32,64M） IBM製マイクロドライブ
動作環境	0～40℃/20～80%（結露しないこと）
外形寸法	90(W)×98(L)×28(H)mm
ケーブル長	約120cm
質量	140g

用語解説

USB（ユーエスビー） *(Universal Serial Bus)*

パソコンと周辺機器を接続する規格の１つ。パソコンと電話回線の接続性向上、接続のしやすさ、増設のしやすさなどを主な目的として 1995 年に公開された。

- コネクタ形状の一元化により、周辺機器のインターフェイスが統一される。
- デスクトップパソコンでもノートパソコンでも使用できる。
- Hot Plug 対応でパソコン起動中でも抜き差しできる。
- USB ポートから電源供給が可能なので外部電源が要らない。
- 複数の IRQ を使用しないので機器間の競合が少なくなる。

などの特長を持つ。

転送速度は、高速用に 12Mbps（シールド付きケーブルで最長５ｍまで）と、低速用に 1.5Mbps の２種類ある。

コンパクトフラッシュ *(Compact Flash)*

フラッシュメモリを記憶媒体としたコンパクトフラッシュは、電源を切っても内容が消えない（不揮発性）し、電気的な消去も可能なことから、ハードディスクのような記憶媒体として利用されている。

コンパクトフラッシュは、1994 年 11 月に発売された。マッチ箱ほどのサイズで PCMCIA ATA 互換、デジタルカメラ、ハンドヘルドパソコン、オーディオレコーダなどに使用されている。アダプタを購入することで、PC カードで読み込むこともできる。

スマートメディア *(Smart Media)*

東芝が開発したフラッシュメモリの商品名。フロッピーディスクの１/４ほどの大きさで、超薄型のカード。デジタルスチルカメラの記憶媒体として使われている。アダプタを購入することで、PC カードで読み込むこともできる。

リムーバブルディスク（ドライブ） *(Removable Disk Drive)*

着脱可能な記憶媒体のディスクドライブをさす。MO、Zip、PD などが代表だが、Windows 上では、本製品もリムーバブルディスクとして認識される。ハードディスクやフロッピーディスクとはアイコンの形や右クリックで表示されるメニューが異なっている。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX 番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (Ver シールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　http://www.iodata.co.jp/support/
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用して、E-mail をお送りください。
@nifty　アイ・オー・データステーション（IODATA）　サポート会議室

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町１５街区７　アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB-DFRW」係　宛

■電話

電話番号　金沢　076-260-3366
東京　03-3254-0301
受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX 番号　金沢　076-260-3360
東京　03-3254-9055
宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「USB-DFRW」係　宛

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトウェアのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■オンライン

インターネット	http://www.iodata.co.jp/ →「サポートライブラリ」
@nifty	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ (IODATA) ライブラリ 7 (LIB 7)

■サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

〒920-8513 石川県金沢市桜田町１５街区７ ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「USB-DFRW」サービス窓口 宛

電話番号 076-263-7070
受付時間 9:30～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■ご注意

オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

弊社製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇メディアの逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町15 街区7　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
『USB-DFRW」 修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせについて

受付窓口　『USB-DFRW」 サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。